

# 新市発展の将来像を問う

田口 達生 議員



## 質問

田沢湖は自然を生かした観光を展望する仙北市

にとつてシンボリック的存在であるが中和処理など、その努力にもかかわらず水質が悪化してきていると言う。水辺の環境についても、水位の変動は十四メートルから三メートルに改善されたが湖岸崩落対策はまだ道半ば、春山地区のキラキラ輝いていた白浜もその面影が失われてきており、周辺樹木を含め田沢湖全体が輝きを失ってきている今日、その再生が急務と思われるが、その対策と復元のプロセスについて伺いたい。

## 市長

田沢湖はこの地のシンボルであり、観光のポイントであるが、国策から玉川のいわゆる毒水導入により、環境汚染が進んだことは否めない事実である。

その環境改善のため、各方面の協力を得ながら対策を組

んでいるが、今後とも国にも理解を求めながら、行政の役割の重要性を認識しつつ、更なる対策を積み上げ、この地に客足を向けさせ、来てよかったといえる仙北市にしたい。そのため努力していきたい。

## 質問

現在、高齢者の雇用対策については、シルバ

ー人材センターでくくっているが、若者の働き職場の確保をどうやっていくのか、当面何をやるのか、例えば、シルバー人材センター的な組織を立ち上げ、その対策をすべきとおもうが、その考えを伺いたい。

## 市長

無定職者いわゆるニート、フリーター等の社会的現象についての調査結果などを参考にしながら、提案を受け止め今後検討し対策を考えていきたい。

## 質問

角館武家屋敷は仙北市にとつて大きな観光資源であり、今までの通過型観光から滞在型観光にするため対策を組むべき時に来ていると思う。

お山囃子や伝統工芸品等の体験もあると思うが、私は武

家時代の庶民生活を身を以て感じ取れる宿泊体験を考えてみてはどうかと思う。角館には多くの団体があり、その中で検討してみてもどうか。

## 市長

武家屋敷は、田沢湖と並んで仙北市の観光ポイントであり、滞留時間をより長くする事は大切な事であり、提言を受け、やるとすればどうするのか、前向きに広範に検討していきたい。

# 行政改革について



佐藤 直樹 議員

## 質問

行政改革をソフト、ハードの両面を適格に且つ迅速に進めて行く事が重要だ。が、合併して五ヶ月を経過した現在の分庁舎方式は弊害が多い様に思われる。市長は現状をどのように捉えているのか見解をお伺いする。

## 市長

合併協議会の段階での建設計画は八年九年目を想定して決めて来ているが、



仙北市観光資源

非効率な所を抱えながらの現状を見れば可能な限り前倒しをして庁舎建設を進めて行きたい考えを現在もっている。

## 質問

職員による行政改革プロジェクトチームを立ち上げたがこのチームの検討した内容、対策についてお伺いする。

## 市長

現行の事務分掌の見直しを図り併せて行政改革大綱の集中改革プランの作成作業を進めている。

## 質問

旧三庁舎の維持管理費が年間約六、七千万かかっている。この状況を考える

と早期建設が行財政改革の有効な手段と思う。早期決断実行が必要と考えるが、又建設方法について、「リース方式」「PFI事業方式」等検討研究すべきと思うが、見解をお伺いします。

## 市長

出来るだけ早期建設に向けては財源、財政の問題もありません。事業方式を色々な面で比較検討して最終的に決めていきたい。

## 質問

統合小学校建設による西長野小学校、角館東小学校の今後の利活用について建設スタートと平行して委員会を設立して、その中で利活用等について地域住民の意見を頂きながら進めていきたい。

## 市長

平成十九年度からの新しい農業政策の対応について

## 質問

今回の大幅な改革の中で、特に農地、水、環境保全向上対策は大変厳しい条件である。行政としても地域にある二百七十の農業集落に理解して頂けるような説明が必要と思うが。

## 市長

水田農業構造対策としての集落説明会は五地区五個所で集落推進員を中心と